This Page Is Inserted by IFW Operations and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning documents will not correct images, please do not report the images to the Image Problem Mailbox.

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11)特許番号

第2762881号

(45)発行日 平成10年(1998) 6月4日

(24)登録日 平成10年(1998) 3月27日

(51) Int.CL.*	袋別配号	P I	
HO1M 4/02 4/58		HO1M 4/0	
4/56 10/40		4/5 10/4	

前求項の数1(全 3 頁)

(21)出職番号	特顧平4-336581	(73)特許指者	000004232
(22)出顧日	平成4年(1992)11月24日		日本電池株式会社 京都府京都市南区吉祥院西ノ庄港之属場
(65)公周番号 (43)公園日	特周平6-163032 平成6年(1994)6月10日	(72)発明者	叮1番地 塚本 寿
客查請求日	平成7年(1995) 4月20日		京都市南区吉祥院西ノ庄翔之馬場町1番 ・ 田本電池株式会社内
		容査官	板谷 一弘
		(56)参考文献	特開 平5−290833 (JP, A)
		(58)調査した5	分野(Int.Cl.*, DB名)
			H01M 4/02,4/58,10/40

(54) 【発明の名称】 非水電節質リチウム電池

(57)【特許請求の範囲】

【請求項1】 リチウムを吸蔵・放出する黒鉛粉末にメ ソフェーズ小球体炭素粉末を混合したものを結着剤と混 台して電極基体に塗布してなる負極板を備えたことを特 徴とする非水電解質リチウム電池

【発明の詳細な説明】

[0001]

【産業上の利用分野】本発明は、非水電解質リチウム電 池に関するものである。

[0002]

【従来の技術とその課題】電子機器の小形軽量化に伴 い。小形で軽量かつ高エネルギー密度の電池が求められ ている。これら要求を満たす電池として、非水電解費リ チウム電池が有望である。これは、正極にリチウムを吸 蔵放出する物質を用い、負極に金属リチウム、リチウム 台金もしくはリチウムを吸蔵放出する物質を用い、電解

液に有機電解質や固体電解質などの非水電解質を用いた 電池である。

【0003】最近の非水電解質リチウム電池では、安全 性の点から負極に炭素材料を用いるのが一般的である。 特に黒鉛粉末は、黒鉛化度の低い炭素材料に比較してリ チウムの吸蔵放出量が大きい点で優れている。

【0004】しかし、発明者は、黒鉛粉末を用いて、い わゆるペースト式により負極板を製作した場合に、下記 10 のような問題点があることを見いだした。すなわち、黒 鉛粉末と結若剤とを混合してペースト状にしたものを電 極益体に塗布する場合に、ペースト粘度が低すぎて塗布 厚みを一定以上厚くできないという問題があった。電極 厚みを一定以上厚くできないということは、電池設計の 自由度を制限するばかりでなく、電池内のセパレーター

http://www6.ipdl ing go.in/Tokyiitu/ticontentation indignionon_1 & roado_1 acceptation

や電極基体の占有体積を増加させ電池のエネルギー密度 を低下させる要因ともなる。

【りりり5】ペースト粘度を向上させるために結若剤量 を増加させると電極の内部抵抗が増加するので好ましく ない。また、ペーストに増粘剤を添加する方法が考えら れるが、増粘剤が電池系内に持ち込まれた場合。性能に 複雑な影響を与えるので好ましくない。また、電池内で 不活性な無機材料や有機材料を添加して厚塗りを可能に する方法は、電池エネルギー密度を低下させるので好ま しくない。

[0006]

【課題を解決するための手段】本発明は、<u>リチウムを吸</u> <u>蔵・放出する黒鉛粉末</u>にメソフェーズ小球体炭素粉末を 混合したものを結若剤と混合して電極基体に塗布してな る負極板を備えたことを特徴とする非水電解質リチウム 電池を用いることにより前記課題を解決するものであ **5.**

[0007]

【課題を解決するための手段】本発明は、黒鉛粉末にメ 台して電極基体に塗布してなる負極板を備えたことを特 徴とする非水電解質リチウム電池を用いることにより前 記課題を解決するものである。

[0008]

【作用】黒鉛粉末は一般に表面エネルギーが小さくしか も粒子同志がお互いによく滑るので、これに結着剤を混 台してなるペーストは非常に粘度が低い。本発明に用い るメソフェーズ小球体炭素粉末は、ビッチ系の炭素材料 を熱分解して得られるもので、等方性のものと異方性の り、黒鉛化度の低いものから高いものまで種種の種類が ある。いずれにしてもその表面は複雑な形状を有し独特 の自己粘着性を有するので上記ペーストに添加すると粒 子同志の粘着度が向上しベースト粘度が向上する。この 結果. 黒鉛粉末を主として用いたペースト負極板の厚塗 りが可能となるものである。

【0009】また、上記メソフェーズ小球体炭素粉末 は、リチウムの吸蔵放出量が大きい(特に黒鉛化度の高 いものが約270 から300mAh/gと大きい) ので、これを添 加したことによって電極のエネルギー密度が低下するこ とは無い。むしろ形状の異なる粒子が混在することで加 圧プレスによる電極多孔度の低下を抑制し、電極充填密 度を向上できるので電池のエネルギー密度を向上させる ことができる.

[0010]

【実施例】以下に、好適な実施例を用いて本発明を説明

【りり11】本発明の電池に用いる負極板を下記のよう に試作した。65章章部のロンザ製黒鉛粉末KS25(d002) 面間距離(). 3355 n m)、18重量部の川崎製鉄製 50 [()()17]

メソフェーズ小球体炭素粉末KMFC(平均粒径14.8μ m. 焼成密度1. 702g/cm') に12wt%のポ リフッ化ビニリデン溶液(溶媒はN-メチルピロリドン) をポリフッ化ビニリデンが10重量部になるように加え て攪拌し、さらにNLメチルビロリドンを粘度調節のため に7重量部ほど添加したものをよく攪拌して負極ペース トとした。この負極ペーストをニッケルメッキを崩した 鉄製穿孔板(厚さ60μm)に塗布したのち、80℃で 2時間乾燥しロールプレス後打ち抜いて、長さ5 7 m 10 m. 幅15mm. 厚さ600μmの負極板を試作した。 【0012】正極板を下記のように試作した。90室量 部の LnCoO₂ . 3重量部のケッチェンブラックに 1 () w t%のTFE溶液をテフロンが7重量部となるように加 えてよく混合した後、120℃で3時間乾燥し、粉砕し て正価台剤を試作した。この正極台剤をSUS304か ちなるステンレス穿孔板(厚さ6()μm)の両面に加圧 密着させた後打ち抜いて、長さ57mm、幅14mm、 厚さ400μmの正極板を試作した。

【0013】上記正極板4枚をポリエチレン製の微孔膜 ソフェーズ小球体炭素粉末を混合したものを結着剤と混 20 セパレーター(三菱化成製BX-4)に包み込み、上記 負極板5枚と交互に精層した後、SUS304製電池ケ ースに挿入して電解液(l モルLiff, /EC+DEC)を注液し て封口し、長さが6.5 mm幅1.6.4 mm厚さ5.6 m mの角形電池を試作した。この電池を本発明の非水電解 質リチウム電池(A)とする。

【りり】4】比較のための電池(ア)を下記のように試 作した。メソフェーズ小球体炭素粉末を用いずに黒鉛粉 末を83重量部とした以外は電池(A)と同様の負極べ ーストを試作した。このペーストを用いて負極板を試作 ものがある。また、粒径は数 μ mから 50 μ m程度であ 30 した場合、仕上がり厚さは 300 μ m が限度でありこれ より厚塗りすることは困難であった。このため電池

(ア)は、厚さ200μmの正極板を8枚、上記負極板 を9枚用いて試作した。いずれにしても電池内に占有す るセパレーターや穿孔板の体積が増加するので電池容量 は低下した。

【0015】比較のための電池(イ)を下記のように試 作した。メソフェーズ小球体炭素粉末の代わりに平均径 13μm平均長さ130μmの炭素機椎 (DONACARBO S-244)を添加した以外は電池(A)と同様の負権板を試 作した。この場合、電極の厚塗りは問題なくできた。ま た。上記炭素繊維は、それ自身がリチウムを吸蔵放出す るので放電容量の低下はほとんどなかった。しかし、炭 素繊維は非常に弾性、剛性が強いので塗布の時に電極よ り飛び出した場合に、後のロールプレスによっても電極 内に埋め込むことができず、このため電池がショートす る場合があった。

【りり16】表1に上記(A)、(ア)および(イ)の 電池の平均放電容量(試験電池数1()()セル)。ショー ト率を示す。

(3)

特許2762881

【表】】

	#=100 平均放電容量(mAh)	H=100 ショート発生率 (%)
(A) 新霉	317	1
電池 (ア)	284	1
電池(イ)	300	9

表しから明らかなように本発明の電池は、放電容量が大 きく、ショートの確率も低い。なお、電池容量は、温度 25℃で60mAで4.1Vまで充電し、60mAで 2. 7 Vまで放電したときの容量である。

【0018】メソフェーズ小球体炭素粉末は、天然黒鉛 や人造黒鉛に比較して約10倍ほど高価であるので、そ の添加量は必要なペースト粘度が得られる最小の値にと どめる方がよい。必要なペースト粘度は、塗布しようと 20 れている。

する電極の厚みによって異なる。厚い電極が必要な場合 には、より粘性の高いペーストが必要である。通常、メ ソフェーズ小球体炭素粉末の添加量は、0.5wt%から60wt % である。

[0019]

【発明の効果】上述のごとく、本発明の非水電解質リチ ウム電池は、エネルギー密度が高く、信頼性の点でも優

INSIDE DELPHION

Search: QuickAlanmar Boolean Advanced

The Delphion Integrated View

Buy N w: PDF | More choices...

Tools: Add to Work File: Create new Work File

View: INPADOC | Jump to: Top

Go to: Derwent...

Email this to a friend

Title:

JP10188959A2: NEGATIVE ELECTRODE FOR LITHIUM SECONDARY BATTERY AND MANUFACTURE THEREOF, AND LITHIUM SECONDARY BATTERY

PCountry:

JP Japan

Α

PInventor:

ISHII YOSHITO:

NISHIDA TATSUYA; **FUJITA ATSUSHI**; YAMADA KAZUO;

🕏 Assignee:

HITACHI CHEM CO LTD

News, Profiles, Stocks and More about this company

Published / Filed:

July 21, 1998 / Oct. 27, 1997

PApplication Number: JP1997000311509

PIPC Code:

H01M 4/02; H01M 4/04; H01M 4/58; H01M 10/40;

Priority Number:

Oct. 30, 1996 JP1996000288109

PAbstract:

Problem to be solved: To provide a negative electrode appropriate for lithium secondary battery having a high capacity by specifying a range of density of the mixture of graphite grains and binder, which forms a negative electrode, after pressurization and integration. Solution: A negative electrode is formed by integrally forming the mixture of graphite grains and organic binder and a collector. Density of the mixture after integration is set at 1.5-1.9kg/cm2. Energy density per unit volume of a battery can be raised by raising density of the mixture, which forms the negative electrode. As a graphite grain, plural grains are collected or bonded so that an orientation surfaces thereof are not formed in parallel with each other. With this structure, since graphite grains are hard to be oriented on the collector, and since the graphite of a negative electrode becomes hard to store and release lithium, the quick charge and discharge characteristic and the cycle characteristic are improved. Graphite grains having aspect ratio at 5 or less is hard to be oriented on the collector, and gives the similar effect with the described graphite.

COPYRIGHT: (C)1998, JPO

P Designated

CA CN EP KR US CH DE FR GB LI

Country: ଟ Family:

Show 16 known family members

Other Abstract Info:

CHEMABS 128(16)194702K









View **Image**

1 page

NEGATIVE ELECTRODE FOR LITHIUM SECONDARY BATTERY AND MANUFACTURE THER...! Page 2 of 2 this for the Gallery...

© 1997-2002 Delphion, Inc.

Research Subscriptions | Privacy Policy | Terms & Conditions | Site Map | Contact Us



(11) Publication number:

10188959 A

Generated Document.

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(21) Application number: **09311509**

(51) Intl. Cl.: **H01M 4/02** H01M 4/04 H01M 4/58 H01M

10/40

(22) Application date: 27.10.97

(30) Priority:

30.10.96 JP 08288109

(43) Date of application

publication:

21.07.98

(84) Designated contracting

states:

(71) Applicant: HITACHI CHEM CO LTD

(72) Inventor: ISHII YOSHITO

NISHIDA TATSUYA FUJITA ATSUSHI YAMADA KAZUO

(74) Representative:

(54) NEGATIVE ELECTRODE FOR LITHIUM SECONDARY BATTERY AND MANUFACTURE THEREOF, AND LITHIUM SECONDARY BATTERY

(57) Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a negative electrode appropriate for lithium secondary battery having a high capacity by specifying a range of density of the mixture of graphite grains and binder, which forms a negative electrode, after pressurization and integration.

SOLUTION: A negative electrode is formed by integrally forming the mixture of graphite grains and organic binder and a collector. Density of the mixture after integration is set at 1.5-1.9kg/cm2. Energy density per unit volume of a battery can be raised by raising density of the mixture, which forms the negative electrode. As a graphite grain, plural grains are collected or bonded so that an orientation surfaces thereof are not

formed in parallel with each other. With this structure, since graphite grains are hard to be oriented on the collector, and since the graphite of a negative electrode becomes hard to store and release lithium, the quick charge and discharge characteristic and the cycle characteristic are improved. Graphite grains having aspect ratio at 5 or less is hard to be oriented on the collector, and gives the similar effect with the described graphite.

COPYRIGHT: (C)1998,JPO